

是れでは眞正直にブラジルを愛し、自州を愛する者には我慢し得ないのではないか、と言ふのである。

只虚心平氣で、ラヂオを聽いてゐると、孰れにも理窟がある。立憲政治は專制政治に比して良くて、正しいやうに聞へるが、然政であり、民衆的であり、デモクラシーの精神に適つてゐる事は單なる理窟では奈何ともすべきからざるもので、政治家だけは毫も疑ひを容れざるものである。

が高遠なる理窟と、鍛練された技術とを以て、國民の思想と感情とを倫理的に導き、之を更に來れるものであるから、何人も實際と調和せしめない限りは、今更ら專制政治に逆轉するを良しとし、之が實行を望む者はなしとし、則ち伯國も亦右の徑路を辿り、さしとて此の弊に堪へざる處から立ち、憲政體に移つたものであるから、道が来るかと思ふた、南大河州は武器を手にして起ち、聖州と最初は先づ專制政治を以て起り、艦艇にて此の弊に堪へざる處から立ち、約束を實行せんとしてゐるが、云ふ報告が到着し、續ひてミナス軍は中央政府の前進命令に従はぬと云ふ報知が舞込んだ。又南大河州では立憲、自由解放問題が沸騰して數日間騒擾が續いたと云ひ、執政官連も州民や市民や近衛兵に反抗されぬ爲めには中央政府を援助する事が出来ぬとの噂が立つた。此等の情報の中には噂に過ぎぬものもあるが、亦事實の多い事も考へられ、何れにしても中央政府は今

である丈に、時局問題に對して議會を中心として漸進と急進との二政黨が出來、互ひに討議競磨する處に進歩があるのであるかへて、議會政治に復舊せねば、ら、此の點から云ふなら臨時政府は其黨時代のやうな失態を招く恐れがある、マア暫く待てと言つてゐるに反し、聖市では、ものなりの誠意を事實に現はす、此の場合急務とすべきではあるまいか。世界を見渡すと、伊太利には統領を選舉し、議會政治を行はねばならぬのに、一ヶ年十ヶ月を経過する今日、尙ほそれを實施する氣振がないのみならず、一生物生きてゐるよ。其日文れるを知られる。

は、焦つてはならない、早まつてはいけない、準備を十分に整へて、議會政治に復舊せねば、また其黨時代のやうな失態を招く恐れがある、マア暫く待てと言つてゐるに反し、聖市では、ものなりの誠意を事實に現はす、此の場合急務とすべきではあるまいか。世界を見渡すと、伊太利には統領を選舉し、議會政治を行はねばならぬのに、一ヶ年十ヶ月を経過する今日、尙ほそれを實施する氣振がないのみならず、一生物生きてゐるよ。其日文れるを知られる。

諸方面から續々来る情報に據り、他州民も亦護憲運動に賛同し、軍事的に共同動作を起さんとし若くは「護憲軍を攻撃せよ」と云ふ中央政府の命令を峻拒してゐる事が明かとなつて來た。尤も此の報道中には幾分割引せねばならぬものもあるが、大體から観て民衆は憲政復舊を望んでゐる事が看守され、中央政府も民衆が最早や頼りにならぬ事を認めざるを得ない破目に陥い

憲政復舊

議會政治の調和を附て行かねば、政治のとしての維ぎに今臨時政府が美を済する事が困難だ。である設けられたものならば是れは吾人は毎夜、ラヂオを聞くの機会を有つ。そして其のラヂオから臨時政府も、議會政治を不出来るだけ短かい期間に於て次は雷にサンバウロのものだけが未だ準備が足らないから、假すに時を以てせよと云ふのでなく、リオ市のものも、亦其他のものも、遠くはブエノスあるが、憲政側から見れば、除アイレスの伯國に關するのも聽りに其の準備が長くて誠意が見るのである。その言ふ處は勿論、立場／＼前にも云ふやうに、政治は一

山西雨時報

聖市葡萄紙に現れたり

時局問題

憲政復舊運動の成就

泥沼に踏んだ様なもので
々々底なしの深みに陥らうとするのである。
制六統領は其の幕僚の將軍連
信を置かず、將軍連は大統
疑ひ、互に猜疑の眼で探りあ
、大統領も何う云ふものか
してカテ次宮を去らうとせん
軍連も國家の爲めに辭任を
こと強請もせぬ。指揮官は軍事
敵方に合することを恐れ、軍
は指揮官が軍隊を危地に追
はせぬかと監視して居る。軍
は政治家を束縛し政治家は
人を怪んで居るから結局の處
は、政治家を束縛して裏
をせぬかと危んでゐる。斯
態で專制政治は危機に瀕し
る。首領も兵士も先づ第一
面からではなく側面や後方
來る敵に對して我身を護ら
ならぬ立場にある。

一、軍の外れいをの借の激戦あり聖州軍は完全に勝利を獲た。

巴拉ナ州から來た軍隊が聖州軍の状態を有りの儘に語り、彈薬や糧食の不足して居ることを白状した、敵の飛行機は日中クルマゼイロ近傍を飛翔したが何等攻撃的態度を示さなかつた。

南部ミナス及びイタラレー方面よりは報導するに足るもの來らず。

巴拉ナ州境にて

聖州軍勝利

の談によれば、ミナス州は全然
護憲派である爲め州民は凡ゆる
手段を講じて專制軍援助を拒
むる。

居るが、現在までの處抵抗を試みる敵軍に一向遭遇せぬと云ふことである。

戦況

護憲軍依然として各方面共に優勢

面共に優勢

共に優勢

燒牛一頭を遺棄し遁走し
専制軍には死焉十二名。
數名を出したが、護憲軍
方不明一人あつたのみ。
正規兵も義勇兵も頗る勇

海軍も護憲の味方

一、送付方法は運賃先拂の形式によられだし
一、CRUZ VERMELHA BRASILEIRA S. PAULO
一、コニエシメントは本團(亦十字後援團)宛送付の事
一、同時に右數量及品目を本團へ御通知めど(宛名前記)
一、芳名は四新聞紙上に發表す
一、急を要するに付發送を御急ぎ下さい
銳く而も整然と攻勢を探つたの 護憲軍の勇猛さに辟易し。アヘンで敵はバラナ州内に逃げ込み、ルトン・ブレイザン大佐揮下で聖州軍は後を追ふて州内に侵入 バラナ軍は意氣沮喪の結果約した。
此戰鬪に於て敵は機関銃三臺、百名の一團は逃亡した。モーゼル銃架百二十五、フォイカルダス附近のカスカータに七十彈藥箱二個、荷物自動車四はれ聖州軍を攻撃したが、護輜、電話器二、ガゾリナ五箱、軍は直ちに應戦して敵を擊退した。
小銃一挺、將校用外套一着、丸た。

同胞より物資の寄與を仰ぎ、之をアラジル赤十字に提供し
奉公の微意を表はしたいと思ひます。
奮つて御賛同あらん事を。

たので護憲軍は直ちに應戦し、一たヘルミニオ大尉の言に據れば既に新聞紙上にて御承知の如く、時局頗る重大化し、母や婦女子に至るまで街頭に起つて國學に奔走するなど、愈々舉州一致の形勢となりました。在留外國人と雖も、此の光景の前には漫然傍観する能はず應分の援助をなし大なる刺戟を國民に與へて居ります。顧れば吾々在留日本人は此土を第二の故郷として生を托せるもの、一日も早く時局の安定を希ぶと共に、此の非常時に當面し、何ぞ袖手傍観して居れませうか。依て四新聞社

然として、回共に優勢に戦ふ毎に敵兵降投を攻撃し始めたので、初の中は、日本軍が全勝。敗告げることなく、専制軍には死士十二名、負傷者數名を出したが、護憲軍には右方不明一人あつたのみ。燒牛一頭を遣棄し遁走した。正規兵も義勇兵も頗る勇敢に戰ひ、司令官より特別の賞辭を受ける。

政府は護憲軍に對し軍使を送つたと云ふ事であるが、詳細な説明はなかつた』とあつた。

一一一
十一日未から翌朝に懸けては
該燈臺が暗黒其の儘であつたが見
二十四日夜に明るくなつたを見
ると、其の日サン・セバスチヨン
島に碇泊した驅逐艦パライ
バ號の乗組員がボートで上陸し
點火したものと思はれる。

世界不景氣退治の爲め 的國際會議開催

イギリス政府の召集で
ロンドンに財界の巨頭網羅

英米政府は過去二週間に亘り出
先官憲を始めとしてマクドナル
ド首相とステムソン國務長官の
長距離電話交渉となり、何事か
重大なる政治的問題の發展を期
待せしめて居たが、果然兩國政府
の主張が合致し、今日の世界
的不景氣から繁榮を復活せしむ
べくロンドンに國際的經濟會議
召集の運びに立至つた。

國際經濟會議の召集に就ては、
既にイギリスに於てはチャーチ
ル氏、アメリカにては外交委員
長ボラー氏等が夙に主張しつゝ
あつた所であるが、今回の會議
は世界的不景氣の共通主因とな
つて居る物價の吊上げを主眼と
し外國為替、金本位制、銀價問
題其他の一般的經濟問題に亘る
ものである。

既に右報の發表と共に米國共和
黨の有力者リード氏の如き「新
る會議は結局戰時賃附問題に就
て我國を渦中に投じて戰價を棒
るが、大體に於て米國財界とし
ては斯る會議を待望して居るだ
けに好感を以て迎へられ、米國
代表としてオーヴエン・ヤング
氏の呼聲が高い、来るべき國際
會議の召集は先づ米國の協會の
賞賛を博した上イギリス政府よ
りフランス、イタリー、ドホッ
オランダ、日本其他の關係列強
政府と協議し會議の期日、議題
などを取極める筈で、會議期日の
如きローランヌ會議の直後、即
ち七月下旬、若くは九月か十月
頃かと觀測され、愈々具體化す
る迄には相當の曲折と時日を必
要とするであらうが、國務長官
ステムソン氏は大統領フーヴア
乳から製したマンティガは輸入
は略ば次の如くである。

イギリス政府が主催すべしとのこ
とであつた、本政府は熟考の
結果駐英大使メロン氏を通じ
本政府としては斯る會議の召
集は不景氣脱却に眞に貢献す
るものと認むる旨回答したが
ロンドンよりの新聞電報が傳
ふる如く右會議は戦時負債、
賠償金若くは軍備縮少等に何
等關係なく、純經濟的問題を
討議するものである。

化作用を減じ、沃度分の痕跡
を増し溶點が昇る。若し綿糖を使
用して過ぎた爲めに肉や脂肪に惡
影響があつた耐へるが、多少水ぼく油味が
ある此の點は大體綿實油の性
質に起因し其の量にも關係が
ある。從つて上記の性質は其の飼
料の配合を變へることによつて
左右することが出来、一般
には綿糖を干草と混じて與へ
れば前述の性質が強く顯はれ
青刈玉蜀黍を多量に與へれば
減らす。

四、牧草の充分な時期にも多少
の綿糖を與へるがよい、マン
テイガの固さを増し保存力を
良くする。

五、マントイガの品質を悪化さ
せぬ爲め一日一頭に對一斤
乃至一斤半以上の綿糖を濫用
せねがよい。

四、牧草の充分な時期にも多少
の綿糖を與へるがよい、マン
テイガの固さを増し保存力を
良くする。

五、マントイガの品質を悪化さ
せぬ爲め一日一頭に對一斤
乃至一斤半以上の綿糖を濫用
せねがよい。

四、二三七瓦を増加したといふ
良鄰には甘蔗、干草、マンデ
オカ、エンシラード等を用ゐる
伯國に於ては乾燥期で青草の不
足な際には甘蔗、干草、蔓ナカ
のが適當である。

四、二三七瓦を増加したといふ
良鄰には甘蔗、干草、蔓ナカ
のが適當である。

農村を救へ！農村を救へ！
紛糾する農民の經濟運動が猛烈として起り、國家の生命を脅かす底の大
きな痛として名聞手の手術を待ち望んである。

日本有史以來稀に見る農村のド
抜けるか、それは日本國民に課
シ底生活の實狀調査の爲、農林
省から四名の官員が夫々兵庫、
新潟、長野、岩手の諸縣へ飛ん
だ、三宅農政課長は四國、中國
を調査した後東北地方へ急行し
た、劫火にさいなまされてゐる
全國農村の負債は今日明せる
分だけでも既に五十億、全農民
五百五十萬戸とすれば一戸當り
約千圓の負債だ、各種租税の滞
納は勿論小學校教員への給料は
こゝ數ヶ月遅つてゐる村がさ
らにある長野縣では頻々として
製絲工場が破産し、女工への給
料未支拂だけでも二百萬圓の多
額に上つてゐる

愛媛縣の或る村では上海派遣軍の凱旋
祝ひに金五錢の會費を納める事の出
來ない者が百名の中三十名の多きに達
し、村申合して一月につき五箇電
燈一箇規定した村である、東北地
方の或る縣下では一文の現金もない爲
總ての取引は物々交換の原始時代に復
てるものはまだよい方で、鶴や牛馬
等に與へろ穀豆屑肥料用
の干魚など僅かに飢か凌ぎ大豆豚は
病せ衰へて路旁にさまよつてゐる。從
つてコソドロの横行、保険金款の放
延等の慘状は二三の縣下に起つ
た特定の現象ではなくて殆んど
全國的な普遍的な事實である
この經濟困難を如何にして切り
業程度以上、七、八月の二ヶ月
に亘り開校するぞ

農村の窮乏

聖聞に達す

亦御召により參内農村の實狀に就い
て詳細に直り奉答した

農村の窮乏

天聽に達し御靈念の餘り

辰巳臣に對して御下問あり、後藤農相

亦御召により參内農村の實狀に就い
て詳細に直り奉答した

農村の窮乏

天聽に達し御靈念の

故村録 佐美

第廿八回

一兄上、お先へ

構はす行くその後を、やがて追

ひついた元助は、愉快さうな顔

色をしてゐた。

『今

の奴な

あればいつぞや

ケ崎で

お前の

召使ひ同然勤い

奴だよ。

あの大地震の時さ。』

存じてをります』

何だ知つてたのか、さうか

わしは忘れてゐるのかと思つた

でなう、この度は兵工衛門が助

勢したいといつて、あの男た

ちを先発させた、お前見なかつ

たか、届けの武士三人が、あの

喜八と一緒にわたよ』

兄上、助勢を許したのでござ

りますか』

と、詰る永女は烈しい色を顔に

浮べた。

許してはいけなかつたか

兄上、お忘れくだされますな

倉懸なにがしとの縁談は、この

度發足の以前、沙汰止みとなり

ました、一兄上永には最早、追

首枷も手足の枷もありませぬ、

それをお忘れくださいませぬ、

妹のいひ方としては治たい。

俺としては味方の多い方がよ

いが、熊八郎の考へもあらうか

萬事は後から来る方波に相

談しろといつて置いた

兄上、遠州の人たちは

味方として働いて貢つて困る

事はないだらう』

方波様がもし断つたら

それでもよい』

このたびの事は萬事方波様

なら、遠州の人たちは

事はないだらう』

方波様を嫌つては困るよ』

まだか。さうお前のやうに、

丹生

様を嫌へばよいのですか』

壽介か、あの男は陰氣で青

顔ばかりしてゐる、いつでも沈

の事に加はらせまいと頻にいふ

殿から制止されてもこの一件か

倉懸

の結構でござる、陽には別個の

眼についた。

兵左殿のご同意は千萬

悉く、就いてはこゝに一つの難儀

ひたいと解説される、そして、

喜八の傍にかる三人さまらひ

すべく、自ら人數をつれて東海

道に網を張り、郡勝馬を追ひ詰

つた。

先村の方へ、燕返しに素早く追

つた。

西三郎がそこに残つてゐて喜八

を紹介した、これで用が済んだ

と雀班は、元助兄妹の後を馬場

事は、遠州の長者倉懸兵左衛門

が、永女の緑のきれ目を継ぎ合

つた。

熊八郎が喜八からこゝで聞いた

話を、元助兄妹の後を馬場

事は、遠州の長者倉懸兵左衛門

が、永女の緑のきれ目を継ぎ合

つた。

西三郎がそこに残つてゐて喜八

を紹介した、これで用が済んだ

と雀班は、元助兄妹の後を馬場

事は、遠州の長者倉懸兵左衛門

が、永女の緑のきれ目を継ぎ合

つた。

西三郎がそこに残つてゐて喜八